

2017.8
第82号

ひの長寿の友

滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
日野町勤労福祉会館内

【発行】

日野町老人クラブ連合会

【責任者】

橋元敏孝



会員が声をかけ合い、
支え合い、
励まし合いながら活動を

会長 橋元敏孝

今年四月から、遠城輝雄前会長さんより会長の重責を引受けることになりました。元より浅学菲才の身であります。会員皆様のご指導をいただきながら、各理事さんと力を合わせ、老ク連の運営に努めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

さて、近年高齢者を取り巻く状況は、交通事故を始め、詐欺被害の問題等、日々マスコミで報道されているところ です。一方、「自分では大丈夫だ」と思っている高齢者がほとんどだと言われています。私達は一人在る時ほど被害を受けやすいと言われます。このためお互いに声をかけ合いながら、支え合い、励まし合いながら毎日の生活を送りましょう。これが大切な予防策の一つです。

老ク連では、健康・交流・育成等を目的にいろいろな活動を行っています。地域で生活をしている者同志が何でも語り合いながら、活動を続けています。私達は今日までの生活を通して、それぞれ貴重な体験を持っています。今高齢者に求められている

ことは、大切なことを社会に、語り継ぐことや子や孫に伝えていくことです。また、地区や地域の状況を知ることです。むずかしい問題に立ち向かう必要はありません。自分一人で行うことができること、地区または地域のみならずでやれること等ではないかと思えます。今日までの体験を語ってあげましょう。必ずみなさんに勇気を与えられると思います。励まし合って一緒に頑張りましょう。

私達老ク連の組織にも不安が存在しています。近年、老人会に加入しただけの方々が出てきています。また、地区老人会が老ク連より退会されている事例があります。それぞれ理由があると思いますが、誠に残念なことです。今日、少子高齢化の波が急速に押し寄せています。その影響で社会生活にいろいろな問題が出ています。このため、私達高齢者が少しでも問題の軽減を計るよう努力することが必要です。活動を進めるため、是非老人会に加入していただきますようお願いいたします。また、

退会されている地区の皆さん、是非老ク連に戻っていただき、励まし合い、支え合いながら活動をしましょう。よろしくお願い申し上げます。いさつといたします。

日野町老ク連役員

会長	橋元敏孝
副会長	田中嘉晃
理事	中野正枝
藤澤早苗	篠村久嗣
皆川重一	奥本重操
巖島彦五郎	井上英子
高橋渉	終奈加子
坂田安弘	嶋村順子
西岡ヒロ子	岩崎定夫
高木京子	三添長一郎
石岡佳子	小森富夫
森口あい子	西田三枝子
事務局	

平成二十九年度総会

約三百七十人参加で開催

平成二十九年度日野町老人クラブ連合会総会を、五月二十二日(月)わたむきホール虹の大ホールで、約三百七十名のご参加をいただき開催しました。

四月から新しく就任された橋元敏孝新会長の開会あいさつの後、長年老人クラブの活動に貢献のあった、優良単位クラブと優良会員、篤行者の皆様に表彰状と記念品が贈呈されました。

続いてご臨席いただきました来賓の代表として、遠城県老人クラブ副会長、藤澤日野町長、杉浦町議会議長、村島県議会議員の皆様からご祝辞をいただき、その後、議長の選出では西桜谷地区の川原慎一さんが選出され、役員の承認、会則の一部改正平成二十八年度事業経過報告および収支決算、平成二十九年度



平成29年度 事業計画

月別	事業計画内容
4	* 第1回理事会(4月11日)
5	* 日野町老人クラブ連合会総会(5月22日)
6	* 単位クラブ会長・女性部長研修会(6月12日)
7	* 会員親睦旅行(7月3日・4日)
8	* 長寿の友第82号発行(8月15日付)
9	* 社会奉仕の日(9月20日)
	* 第1回シルバー大学・開講式(9月30日)
10	* ゲートボール大会(10月11日)
	* 第2回シルバー大学(10月16日)
	* 第3回シルバー大学(11月11日)
	* 県老人クラブ大会(11月16日)
11	* グラウンドゴルフ大会(11月22日)
	* 第4回シルバー大学・開講式(11月27日)
	* 女性部施設訪問と研修(11月30日)
12	* ニューススポーツ講習会(12月4日)
1	* 長寿の友第83号発行(1月1日付)
年間	・友愛活動・奉仕活動・介護予防・健康に関する活動 ・防犯活動(詐欺被害防止)など ・会員増強と組織体制の強化活動

事業計画および収支予算案を審議、全議案提案どおりご承認いただきました。

続いて今年度は役員改選年となり、二年間ご尽力いただきました役員の皆様に感謝状と記念品が贈呈されました。

休憩後、「高齢者が交通事故と犯罪被害にあわないために」と題して、近年の高齢者の交通事故や詐欺被害の現状と予防策について、東近江警察署交通課、澤山豊様と生活安全課、田中進様のご講演をいただきました。

事故を起こさないよう、遭わないよう、騙されないよう注意することを再確認し、総会を終了しました。

老人クラブ連合会表彰

優良老人クラブ表彰

下駒月老人クラブ

十禅師長寿会

豊田三区長寿会

優良会員表彰

奥村昌一(東桜谷)

八木愛子(〃)

新海とみ子(必佐)

花木悟(〃)

島村五男(〃)

小澤洋子(〃)

望月喜三郎(〃)

篤行表彰

横田洋子(西桜谷)

おめでとうございました

シルバー大学のご案内

次の日程で開催されます。多数のご参加をお待ちしています。

第一回 九月三十日(土)開講式

「日本文化と西欧文化を楽しむ一日」

一部 能 土蜘蛛 分林道治氏

二部 鈴木舞バイオリンリサイタル

第二回 十月十六日(月)

講演 「笑い与健康」

講師 滋賀県健康医療福祉部次長

角野文彦氏

第三回 十一月十一日(土)

講演 「菊地流魅力的な人生のすすめ」

講師 弁護士 菊地幸夫氏

第四回 十一月二十七日(月)

閉講式

講演 「特殊詐欺の現状と対策」

講師 滋賀県警察本部

防犯アドバイザー 山本芳則氏

演奏 滋賀県警察音楽隊

時間と会場

午後十二時三十分受付

午後一時三十分開演

わたむきホール虹大ホール

井伊直虎ゆかりの地やがん封じ寺

蒲郡温泉の旅に(一四)一名が参加

去る七月三・四日の会員親睦旅行にバス四台、百四十一名のご参加のもと、彦根藩ゆかりの地、大河ドラマ「おんな城主直虎」の井伊谷と会員の皆さん誰もが願うがん封じ寺に行ってきました。出発前は台風接近で心配しましたが、快晴で浜松に向かいました。井伊谷は浜名湖の北側で、南側の東海道、新居関は「入り鉄砲に出女」を厳しく検問されたので、女は北側の姫街道に迂回した気賀関とドラマ館を見学。また、井伊家の菩提寺、龍潭寺を参拝、小堀遠州の庭園等を拝観後、蒲郡温泉ホテル竹島に着きました。お元氣な方々



△ 江州音頭で楽しく

約四十名が向かいの竹島を散策。一時間程の行程でしたが蒸し暑く、皆さん温泉で疲れを癒されました。宴会ではお料理、カラオケなどを楽しみ、和氣あいあいと地区を超えて親睦を深められました。翌日はがん封じのお寺で祈禱をしてもらい、もう安心。「ありがたいの里」の見学や昼食、えびせんの里では試食ポリポリ、お土産をどつさり買い込んで帰路につきました。途中から雨が降り出しましたが、日野に着いた頃には小雨となり傘を使わず無事帰宅。梅雨の最中、ラッキーな旅は楽しく終わりました。(必佐地区 久村 幸彦)

大河ドラマの地

「井伊谷」と訪ねて

親睦旅行一日目は、大河ドラマの地、浜松市「井伊谷」に向かいました。昨年までは全国的に知られていなかった所でも、大河ドラマのお陰で俄かに脚光を浴び、大勢の観光客が押し寄せていました。地元では千載一遇のチャンスと捉え「NHKの方に足を向けて寝られません」と恵比寿顔で答えてくれました。井伊家菩提寺の龍潭寺に参拝しました。ご神木は樹齢四百年余りの「薙の木」で、「なぎ」に込められる願いは、風がなく全



△ 井伊家菩提寺の龍潭寺

ての苦難をなぎ払い、直政公の無事成長を願って植えられたと伝えられています。いつの世も親が子を思う心は変わらず、立派な大木に成長した「薙」の陰から、今にも凛々しい武者姿の親子がひよっこり現れるような幻想に駆られてしまいました。木立の中はもう陽が傾いていました。(日野地区 守村 弘)

ひさしぶりの出合い楽しく

老人クラブ会員となり、始めて日野町老人クラブ親睦旅行に参加させていただきました。

二日目には、昔から難病封じのお寺として有名な「無量寺」を参拝しました。平安時代御開創の古刹で、全国から毎日多くの人が参詣されており、当日は本堂でがん予防のご祈禱をしていただきました



△ がん封じの無量寺

た。「これでがんにかからなければ良いのになあ」とみんなの想いは同じで、参拝の喜びを感じさせられました。つづいて「ありがたいの里(白醬油)工場を見学しました。言葉には大きな力があり、白醬油は生き物であるという考えのもと、「おいしくなれ」と話しかけておられ、仕込みタンクや商品の瓶ラベルにも「ありがたい」という文字が書かれている。会社の取り組みとしての「ありがたい」についてのお話を聞き、社員さんの明るい声に元氣をいただきました。

今回の親睦旅行で久しぶりにお出会いする会員さんと話をし、楽しく過ごすことができ、大変有意義な旅行になりました。(東桜谷地区 堀江清一郎)

に部連人月にイラ役座た養るやいて知バンしてりてもこの要
お研合クは去トがのめ成家て症事、を目のようにな
い修会ラ十二るバンがの講す援族正サ業、指心な中、
て会幹ブ老日六すメキャ師する者で、しくポ実、了安
て、幹ブ老日六すメキャ師する者で、しくポ実、了安



日野町老人クラブ連合会幹部研修会

このように、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指した取り組みの一つとして、認知症サポーターを養成する。認知症の正しい理解、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する役割を担うサポーターを養成する。認知症の正しい理解、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する役割を担うサポーターを養成する。

日野町では、介護保険サービスを受けておられる方約千人のうち約七割の方に何らかの認知症の症状がみられます。認知症は様々な原因により記憶や判断力などの脳の機能に障害が起こり、生活をするうえで支障が出てくる状態（およそ六か月以上継続）をいいます。認知症になる方は全国で一人にのぼると言われており、地域や近隣での見守りや声かけが必要になってきます。

認知症「ちよつとおかしいな」と思ったら
地域包括支援センターにお気軽に相談を

役場長寿福祉課 地域包括支援センター
☎五二一六〇〇一

地域包括支援センターでは、随時相談を受けており、必要に応じて医師の助言を受けて訪問しています。ご自身やご家族、身近な方のことで「最近物忘れがひどくなった」「ちよつとおかしいな」ということがあれば「気のせい」「年のせい」とやりすごさず、まずは誰かに相談してみましよう。お気軽にご相談ください。

認知症キヤラバンメイトとして活躍の岩井加代子さんに「誰もが生き生きと暮らせる地域をめざして」と題して、認知症の原因や症状、予防、認知症の方やご家族に接する時の心構えについてお話しいただきました。いま、私たちにできることは、「知ること、理解すること、寄り添うこと、支えること」で、何か自分にできることがあるかと考えることが寄り添うこととあり、相手を受け止め、わがこととするのが大切だと話されました。本人の不自由や苦しみを理解し、家族や地域の一員として大切に、その人の本来の心柄やその人らしさを大切にすることが、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりにつながることを教えていただきました。

老人クラブ3つの保険〈掛金・補償内容〉

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ（全員加入が条件となります）
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者に取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型（掛金3タイプ）」と「活動型（掛金3タイプ）」の6タイプから選択してください。

24時間型（クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず）					
クラブ活動中のケガの場合は、 自賠責（任意加入） の合計 5,000円 の保険金が支払われます。 クラブ活動中以外のケガの場合は、 任意加入 のみの保険金が支払われます。					
加入額	10,000円	5,000円	3,500円	加入額	2,000円
死亡保険金	170万円	85万円	45万円	死亡保険金	170万円
後遺障害保険金	170万円	85万円	45万円	後遺障害保険金	170万円
入院保険金（1日あたり）	4,000円	2,000円	1,000円	入院保険金（1日あたり）	4,000円
通院保険金（1日あたり）	2,600円	1,300円	650円	通院保険金（1日あたり）	2,600円

※1 保険期間満了時、クラブ活動中のケガに該当する場合は、自賠責の保険金にプラスして、クラブ活動中のケガに「後遺障害保険金」の4割（100%）が支払われます。
※2 任意加入の保険金は、加入額が10,000円以上、5,000円、3,500円の3タイプから選択できます。
※3 任意加入の保険金は、加入額が10,000円以上、5,000円、3,500円の3タイプから選択できます。

賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ（全員加入が条件となります）
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛金：1人年額100円（最低引受保険料3,000円）
- ④ 補償：支払限度額1億円

公益財団法人全国老人クラブ連合会（保険係）
TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区麹町3丁目6-14 三久ビル1階102号
（取扱代理店）有限会社 シニアサービス TEL.03-3597-8769
（引受幹事保険会社）東京海上日動火災保険株式会社

この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険（傷害補償）」の概要について紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

17-T00967 平成28年4月作成

編集後記

今年度から二年間、編集委員は次のとおり交代しました。よろしくお願いいたします。
「病は氣から」と申しますが、心と体は微妙にバランスを保っているようです。病気ではないのですが、「もう年だから」という引つ込み思案は、心も体も早く衰えさせます。少しでも前向きに頑張りましょう。
先月老ク連の旅行に初参加しました。大勢の参加者があり、懇親会では順番が来ないほどの

編集委員会

カラオケや、江州音頭の踊りなど皆さんのパワーに圧倒されました。最近の川柳に「夏が好き」されど昔の夏が好き」というのがありました。近年異常な暑さが続きます。熱中症にはご注意ください。（久村 幸彦）
委員長 高橋 久村 幸彦
委員 山田 正和
委員 西河 由弘
委員 門崎 剛
委員 富田 まき江